

簡単バックアップツール



Client Type 1 Version 1.0

セットアップガイド

Copyright© 2008 plusalpha Co.Ltd. All right reserved.

ごあいさつ

この度はeasymiroをお買い上げくださいましてありがとうございます。easymiroはWindows OS標準のファイルコピー機能をベースにした極めてシンプルなバックアップ用ファイルコピーツールです。そして、シンプルならではの軽快で安定した動作が特徴となっております。

easymiroは一般的なバックアップ専用ソフトの様に難しい設定は必要ありません。独自の形式の バックアップファイルなどは使用せず、単純なファイルコピーとLZH形式の書庫だけでバックアッ プ処理を行います。難しい設定は極力減らし、誰でも簡単に、そして軽快に利用できる事を目的に 開発しました。

動作環境

動作可能OS	Microsoft Windows Vista Microsoft Windows 2000/XP いずれも32bit版
CPU	ご利用のOSが安定して動作できるCPUが必要です。
メモリ	ご利用のOSが安定して動作するだけのメモリ量が必要です。
必要なHDD容量	インストール時、5MB(10MB以上推奨)の容量が必要です。バックアップ先の 容量はバックアップの設定により必要な容量が異なります。
VGA	256色以上 1024×768以上 を推奨。

		目 次
Ι.	インストール編	
Π.	初期起動編	
Π.	利用準備編	
IV.	実行編	15
V .	まとめ	

I. インストール編

※特別な事をする必要はありません。通常はインストーラー画面の指示に従って進めて行けば完了します。

① インストーラーの起動	🛃 Easymiro	_ 🗆 🔀
CD-ROMを挿入(又はダウンロードし たセットアップファイルを起動)す	Easymiro セットアップ ウィザードへようこそ	
ると自動的にセットアッププログラ ムが起動します。画面の指示に従っ て次ヘボタンを押下します。	インストーラは Easymiro をインストールするために必要な手順を示します。 この製品は、著作権に関する法律および国際条約により保護されています。この または一部を無断で複製したり、無断で複製物を頒布すると、著作権の侵害とな 注意ください。	D製品の全部 内ますのでご
	キャンセル 〈戻る(B)	次へ₪>

② インストールフォルダの選択	🙀 Easymiro	
画面の指示に従って次ヘボタンを押 下します。	インストール フォルダの選択	
	インストーラは次のフォルダへ Easymiro をインストールします。 このフォルダにインストールするには[次へ]をクリックしてください。別のフォルダ ルするには、アドレスを入力するか[参照]をクリックしてください。	にインストー
	フォルタ(ビ): C:¥Program Files¥plusalpha¥Easymiro¥ ディン	参照(B) スク領域(D)
	Easymiro を現在のユーザー用か、またはすべてのユーザー用にインストールします: すべてのユーザー(E) このユーザーのみ(M) 	
	キャンセル 〈戻る(B)	次へ図と

I. インストール編

※インストールはほんの数秒で終了します。

③ インストールの確認	🙀 Easymiro	
画面の指示に従って次ヘボタンを押 下します。	インストールの確認	
Windows Vistaの場合、この後にユー ザーアカウント制御画面が表示され ますので「許可」を選択してくださ い。	Easymiro をインストールする準備ができました。 [)次へ]をクリックしてインストールを開始してください。	
	<u>キャンセル</u> く戻る(<u>B</u>)	次へ(₩)>

④ インストールしています	🛃 Easymiro	
このままお待ちください。インス トールはほんの数秒で終了します。	Easymiro をインストールしています	
	Easymiro をインストールしています。	
	お待ちください	
	キャンセル く戻る(B) 次へ(N) >

I. インストール編

※起動アイコンはデスクトップ、スタートメニュー、スタートアップに作成されます。

⑤ インストールの完了	🙀 Easymiro	
インストールが完了しました。この まま画面を閉じてください。	インストールが完了しました。	
	Easymiro は正しくインストールされました。 終了するにはよ、[閉じる]をクリックしてください。	
	<u>キャンセル</u> く戻る(<u>B</u>)	<u>閉じる(C)</u>



Ⅱ. 初期起動編

※最初に製品登録を行いましょう。製品登録をしなくても使用できますが、その場合は30日間の試用版として 動作し、起動毎にメッセージボックスが表示されます。





Ⅱ. 初期起動編

※管理画面から製品登録を行いましょう。



④ 製品登録画面 プロダクトIDを入力してOKボタンを 押下すると確認のメッセージボック スが表示されますので、はいボタン を押下します。

휋몲登錄	
プロダクトII 111111	- 111111 - 1111
	ок 閉じる
easymiro	
?	111111-111111-11111-1111 でよろしいですか?
	(はい) いいえ(N)

Ⅱ. 初期起動編

※製品登録が完了しました。

⑤ 製品登録完了	
これで製品登録が完了しました。	アイル(E) 編集(E) 表示(W) 実行(W) ご ご ご こ こ こ ご ご ご ご ご ご ご ご ご ご ご ご ご ご
	自動実行が有効です。(01-04-52)

⑥ バージョン情報画面	バージョン情報
バージョン情報画面で確認してみま	バックアップツール
しょう。	ころ、「アンプロール
	製品名 easymiro 正式版 バージョン 1.0.0.0 プロダクトID インストール日 2008/08/31 Copyright(c) 2008 plusalpha Co.,Ltd. All right reserved. http://www.palpha.ip/ OK

※それではバックアッププロパティの作成を行いましょう。

① バックアッププロパティの 新規作成 🦆 easymiro ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 実行(X) ヘルプ(H) easymiroでバックアップを行う設定 〒 🖻 🖻 起 🗙 🗃 📄 🕨 🥔 🦛 💷 を行います。easymiro管理画面で 27-自動実行前回実行日時 終了状態 コメント タイトル 種別 ファイルメニューの「新規作成(A)」 を選択するか、ツールバーの新規作 新規作成ボタン 成ボタンを押下します。 自動実行が有効です。(01:04:52)

② バックアッププロパティ画面

新しいバックアッププロパティの設 定画面です。この画面でバックアッ プの設定を定義します。基本項目は バックアップ元とバックアップ先、 バックアップ種別などです。

タイトル、サブフォルダ名はシステ ムが決めたデフォルト値が予め入力 された状態になってます。これらの 名前は適当に変更しても構いませ ん。その他デフォルト値が設定され ていますのでお好みの設定になおし てください。

タイトル backup1 パックアップ元 送り元フォルダ	● 有効 □ コメント 参照… (除外リスト)
- バックアップ先 サブフォルダ名 backup1 送り先基準パス	コンピュータ名を付与 コーザー名を付与 参照… 容量確認
 バックアップ種別 ブルバックアップ 日時毎書庫作成(L2H) 日時毎フルバックアップ 自動実行対象 回自動実行を行う。 又カリーンセーバー起動中に実行する。 	 □ピーオブション ✓ ファイル更新日時が新しいものだけを対象とする。 □ アーカイブ属性のファイルのみを対象とする。 □ 隠しファイル、システムファイルを含む。 □ 読み取り専用ファイルを上書きする。 □ 書きこんだファイルを検証する。
40%	OK 適用 閉じる

※基本的な設定方法です。

③ 各項目を入力

例として、「E:¥My Documents¥My Pictures¥デジカメ」と言うフォルダ の下にあるファイルを「H:¥backup」 と言うフォルダにコピーする定義を してみましょう。右の画面の様に入 カし、OKボタンを押下します。

ヌイトル backup パックアップテ	1		● 有効 ● コメント
送り元フォルダ	E:¥My Documents¥My Pictures¥デジ	ንታኣ	参照 除外リスト
バックアップ先			
サブフォルダ名	backup1	□コンピュータ名を付与	🗌 ユーザー名を付与
送り先基準パス	H:¥backup		参照 容量確認
バックアップ種別 ● フルバックアップ ○ 日時毎フルバック	〇日時毎書庫作成(LZH) アップ	□ピーオブション □ピーオブション □ファイル更新日時が新し □アーカイブ属性のファイル	いものだけを対象とする。 のみを対象とする。
自動実行対象		📃 隠しファイル、システムファ	イルを含む。
☑ 自動実行を行う	0	□ 読み取り専用ファイルを	上書きする。
🗹 スクリーンセーバ	ー起動中に実行する。	🗌 書きこんだファイルを検証	する。
コメント デジカメ	画像		

■バックアップ先について

上記の定義の場合、コピー先のフォルダは「送り先基準パス」+「サブフォルダ名」となります。 コンピュータ名、ユーザー名を付与すると言うチェックを行った場合は以下の様になります。 【コンピュータ名を付与をチェック】 「送り先基準パス」+「コンピュータ名」+「サブフォルダ名」 【ユーザー名を付与をチェック】 「送り先基準パス」+「ユーザー名」+「サブフォルダ名」 【コンピュータ名を付与、ユーザー名を付与を両方チェック】 「送り先基準パス」+「コンピュータ名」+「ユーザー名」+「サブフォルダ名」 ネットワークのコンピュータを使用する場合はネットワークドライブ名による指定はできません。UNC形式で指定します。また、ご

使用中のコンピュータがネットワークコンピュータにログインされている状態でなければなりません。

■バックアップ種別について

フルバックアップ	バックアップ元からバックアップ先へ完全コピーを行います。
日時毎フルバックアップ	バックアップ元からバックアップ先へ完全コピーを行います。実行する毎に新しく日時名でフォ ルダが作成され、そこにファイルをコピーします。*1
日時毎書庫作成	バックアップ元から日時毎のLZH書庫を作成し、バックアップ先へコピーします。*2 通常、書庫作成時はワークファイル作成パスが含まれるドライブの空き容量がバックアップ元 ファイルサイズの合計以上必要です。

*1 基本パスの下に日時のフォルダ(YYMMDDHHMMSS形式)が作成されます。

*2 基本パスの下に日時、(YYMMDDHHMMSS形式)で構成された名前のLZH書庫が作成されます。

例)20080512015842.lzh

※コメント行について。

④ コメント行とは?

easymiro管理画面上にたくさんの バックアッププロパティが表示され る様な時にコメント行を入れておく と見易くなり便利です。

タイトル ↓↓↓これより→括実行対象外	────────────────────────────────────
「バックアップ元	
送り元フォルダ	参照外リスト
「バックアップ先」	
サブフォルダ名 backup4	ここをチェックするとコ
送り先基準パス	┦ メントデータ扱いにな
	り 全ての入力チェック
「バックアップ種別」	が変換されます
○ 日時毎フルバックアップ	л. выслову.
白釉実行対象	
	□ 読み取り等用ノア1ルを上書き9つ。
▼	□ 書きこんにファイルを検証する。

管理画面ではタイトルとコメントの み表示され、その他の項目は「-」 (ハイフン)で表示されます。	

<mark>」easym</mark> マイル(F)	iro 編集(F) 表示(V) 実行(X) へ)	u⊐/(H)				
ステータス	\$1hu	種別	自動実行	前回実行日時	終了状態	
)待機)待機	backup1 backup2	フルバックアップ フルバックアップ	 тм,sc тм,sc 			デジカメ画像
 無効	↓↓↓これより一括実行対象外 backup3	 フルバックアップ	атм, sc			****
				自動調	彩行が有効です。(01:04:52)

※バックアップ不要なフォルダや拡張子の指定。

⑤ 除外リスト

バックアップ元フォルダ下でバック アップが不要なフォルダ、ファイ ル、拡張子を指定しましょう。何も 指定しないと全てのファイルがバッ クアップ対象となります。

ここに記述された名前を含むファイ ルがコピー対象外となります。

¥downloaded¥	~
.tmp .bak	
<.	×

■除外リストについて

除外リストに記述された名前を含むファイルがコピー対象外となります。

- ファイル名 : そのままファイル名を記述します。
- フォルダ名 : ¥と¥で囲んで記述します。
- 拡張子 : 「.」から記述します。

上記の様な設定の場合、「downloaded」フォルダ、拡張子「.tmp」と「.bak」がバックアップ対象外となります。

※自動実行設定などです。

⑥自動実行の設定など

自動実行やログ保存数の設定を行い ます。easymiro管理画面で実行メ ニューの「設定(E)」を選択して設定 画面を表示します。このままでよけ れば何もせずそのまま閉じるボタン を押下してください。 ſ

インストール時は自動実行を30分間 隔で行う、スクリーンセーバー起動 中に実行する。実行ログ最大保存数 は1000。ワークファイル作成パスは 未設定(デフォルト)になっていま す。

自動実行		口グ保存設定
 ✓ 自動実行を行う。 ✓ スクリーンセーバー起き 	実行間隔 60 分 動中に実行する。	実行ログの最大保存数 1000
動作設定		
ワークファイル作成パス		参照… 容量確認
		OK 適用 閉じる

■自動実行設定について

この画面で自動実行を行う様に設定しても、個々のバックアッププロパティにて自動実行を行う設定にしていなければ自動実行は行われません。スクリーンセーバー起動中の設定も同様です。

⑦ 設定完了			
これで設定が完了しました。	 casymiro ファイル(E) 編集(E) 表示(V) ご ご こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ	実行 ② ヘルプ (H) ■ ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	・ ・

Ⅳ. 実行編

※早速使ってみよう。

①単独実行

単独実行を行うにはeasymiro管理画 面にて、一覧に表示されているバッ クアッププロパティを選択し、ツー ルバーの実行ボタンを押下します。 実行メニューや右クリックのコンテ キストメニューにも同様な項目があ ります。



② 一括実行

複数登録してあるバックアップをリ ストの上から順に順次実行します。 実行対象はステータスが「待機」に なっているものだけです。一括実行 を行うにはツールバーの一括実行ボ タンを押下します。実行メニュー、 及びタスクトレイメニューにも同様 な項目があります。



Ⅳ. 実行編

※自動実行機能を使ってみよう。

① 自動実行

自動実行は自動実行が有効になって いるバックアッププロパティについ て実行されます。自動実行が有効に なっている場合はステータスバーに 自動実行が有効な旨のメッセージが 表示されます。

自動実行は規定の時間になると一括 実行を自動的に行います。ステータ スが「無効」のものに対しては実行 を行いません。スクリーンセーバー 起動中自動実行はスクリーンセー バー起動後、約1分で開始され、ス クリーンセーバー解除時点で実行中 のもので実行を終了します。



実行ログ

実行後のログを参照するには管理画 面のバックアッププロパティを選択 し、ダブルクリックします。ログ ビューワー画面が表示されます。

ログビューワー画面で左側の実行リ ストを選択すると右側のログ表示エ リアにログが表示されます。

実行日時	種別 実行 実行	実行日時 2008/08/31 23:57:49.95 from [E:¥My Documents¥My Pictures¥デジカメ] to [H:¥backup¥backu xcopy /D /S /E /Y /F "E:¥My Documents¥My Pictures¥デジカメ¥*" "H:¥ E:¥My Documents¥My Pictures¥デジカメ¥DSC_006.0PG -> H:¥backup E:¥My Documents¥My Pictures¥デジカメ¥DSC_006.0PG -> H:¥backup E:¥My Documents¥My Pictures¥デジカメ¥DSC_006.0PG -> H:¥backup E:¥My Documents¥My Pictures¥デジカメ¥DSC_006.3PG -> H:¥backup E:¥My Documents¥My Pictures¥デジカメ¥DSC_007.3PG -> H:¥backup E:¥My Documents¥My Pictures¥デジカメ¥DSC_007.3PG -> H:¥backup E:¥My Documents¥My Pictures¥デジカメ¥DSC_007.3PG -> H:¥backup E:¥My Documents¥My Pictures¥デジカメ¥DSC_007.3PG -> H:¥backup E:¥My Documents¥My Pictures¥デジカJ\$4DSC_007.3PG -> H:¥backup E:¥My Documents¥My Pictures¥	

Ⅴ. まとめ

※ワンポイント、注意事項をまとめてみました。

- easymiroは最小化して自動実行、スクリーンセーバー中自動実行で使いましょう。知らず知らずのうちにファイル のコピーを行ってくれます。
- easymiroに復元機能はありません。復元は自身が責任もって行いましょう。
- 今日の作業は終了。会社では帰宅前、自宅では就寝前に。自動シャットダウンで楽々バックアップ。
- 定型的なファイルコピー作業もeasymiroを使えば楽々コピー。
- バックアップ先の状況も時々確認しましょう。特に日時毎バックアップや書庫作成の場合はバックアップファイル がどんどん増えていきます。あまりに古いバックアップで不要なものは削除しましょう。
- 一般的なLANディスク(NAS)をバックアップ先にしてフルバックアップを行う時はアーカイブ属性のファイルを 対象にしましょう。更新日時の判断ではうまく動作しません。
- 書庫作成の場合、ワークファイル作成パス(14ページの画面で設定)が含まれるドライブに送り元の合計ファイル サイズ以上の十分な空き容量が必要です。ワークファイル作成パスのデフォルトはユーザーのフォルダ(Windows XPの場合は通常 C:¥Documents and Settings¥(ユーザー名))を使用します。
- 書庫作成の場合、送り元の合計ファイルサイズは4GBが上限となっています。4GBを超えると正常に書庫が作成されない可能性がありますので注意してください。

■著作権

- Microsoft、MS、Windows、Internet Explorerはマイクロソフト社の登録商標です。
- UNLHA32.DLLはMicco氏のフリーソフトです。
- LHA32.EXEはTake氏のフリーソフトです。
- easymiroは有限会社プラスアルファの商標です。
- このマニュアルに記載される全ての製品名/会社名等は、各社の商標または登録商標です。

■お問い合わせ、サポートは

有限会社プラスアルファ システム開発事業部

- 電話 042-682-0309
- FAX 042-666-3387
- メール easymiro@palpha.jp
- URL http://www.palpha.jp/

easymiroをお選び頂きましてありがとうございました。